

御船町

総面積 98.30 km²
 総人口 18,200人
 特産品 竹の子、竹製品、メロン、
 高原野菜、陶器、お茶、トマト

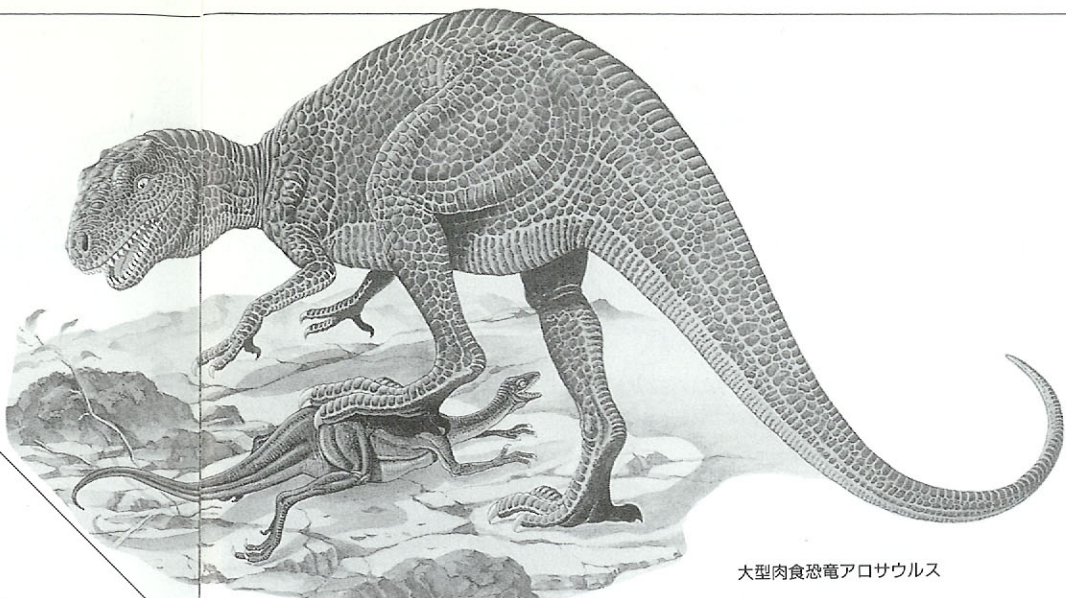
自然と文化を大切に 話題いっぱい御船町

御船町は古くから要害極要の地で、南北朝の昔から幾度か戦いの場となりました。「西南の役」では、敗走してきた薩軍が陣営を建て直して最後の大反撃を敢行したところです。

また、高低差と都市近郊という恵まれた条件を生かして野菜作りが盛んです。「古無田高原野菜」という統一ブランド名で出荷され、選別の良さと鮮度を武器に、市場ではリーダー的な存在に育ちました。

全国規模の話題もあふれています。一昨年に進出が決まったサントリービール工場。平成四年の創業開始を目指して作業が進行中。地元のおいしい水を使ったビール誕生も間近です。

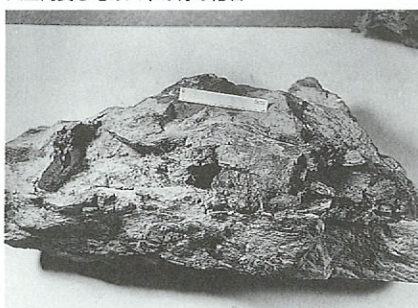
今年三月の三個の化石発見をきっかけに、数か月で三十点以上もの恐竜の化石が発見されました。御船では十年前にも日本で初めて肉食恐竜の歯の化石が発見されました。一ヶ所からのこれだけ大量の発見は、極めて貴重なものです。発見されたのは約九千万年前の白亜紀後期にできた御船層群です。九千万年前とは一年を一ミリで表すと九十キロにもなる途方もない昔です。



大型肉食恐竜アロサウルス



大型肉食恐竜のスネの骨の化石



恐竜の化石は、そんな太古の姿を生々しく伝えてくれます。これからは博物館の建設や国際交流を含めて、恐竜君には町づくりのために大いに頑張ってもらおうと考えています。

また、ホルンをデザイン化した親柱のメロディー橋の開通や、優れた音響効果を持つカルチャーセンターの着工とサウンドスケープ(音の風景づくり)も着々と進んでいます。

大自然と文化を大切に、話題いっぱいの御船町。みなさんもぜひおいでください。



恐竜の化石発掘現場

今春、最初に発見された肉食恐竜の四肢の一部の化石



九州縦断自動車道八代インターを降り、国道三号線を南下。赤松トンネルを抜けるとそこは「日本一の甘夏みかんの里」田浦町。

今ここでは、恵まれた海の自然と特産の甘夏みかんを盛り込んだ町づくり運動が進行中。その中で、本格的な海洋リゾート基地づくりを目指した御立岬公園の整備が行われています。

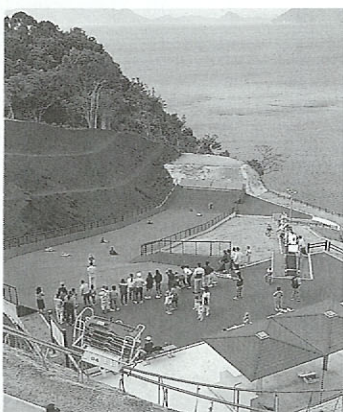
ここには、ローンスキー、スーパースライダー、人工芝のテニスコート(四面)、人工釣場、遊歩道があり、休日には家族連れや若者など、多くの人で賑わいます。

これから、人工ビーチの海水浴場やプール、くだもの村、パットパットゴルフ場、親水広場、キャンプ場、多目的広場などが建設される予定です。

毎年四月には、延長約二kmの桜並木の開花にあわせて、御立岬ジョギングの集いが行われ、県内や県外各地から多くの参加者を集めています。

将来は、町の中行事の夏まつりや産業祭、昔から受け継がれている伝承

甘夏みかんの里に 海洋リゾート公園誕生



芸能などをここで行い、地域文化の発信基地としても活用したいと考えています。

また、この対岸には、ゴルフ場(本年度着工予定)、人工ビーチの海水浴場、マリナーなどの建設予定もあり、県南の海洋リゾート基地として発展していくものと、期待が寄せられています。

この活気のある南国の楽園「御立岬公園」に遊びに来てみませんか。

総面積 32.76 km²
 総人口 6,349人
 特産品 甘夏みかん、甘夏マーマレード、
 太刀魚のみりんぼし

田浦町

